



てるひめ  
**豪華絢爛な時代絵巻「照姫まつり」が開催**  
～室町時代から伝わる伝説のヒロインに13万人が酔いしれる～

と き 5月17日(日) 午前10時～午後3時30分  
ところ 都立石神井公園(練馬区石神井台1丁目)とその周辺



沿道に手を振る照姫

17日、都立石神井公園とその周辺で「第28回照姫まつり」が開催された。会場は家族連れなど約13万人の人出でにぎわった。「照姫まつり」は、室町時代中期に石神井城を居城としていた豊島泰経(としま やすつね)の娘・照姫にちなんだまつりで、練馬の春の祭典として定着している。

最大の見どころである「照姫行列」では、絢爛豪華な衣装を身にまとった照姫、泰経公、奥方の三役を中心に、勇ましい鎧姿の武士に扮した総勢約100人が、都立石神井公園内の野外ステージを出発し、公園周辺の約2kmをおよそ3時間かけて練り歩いた。

また、友好都市の長野県上田市から真田の甲冑隊が照姫行列に参加。駅前会場では信州上田真田陣太鼓保存会による太鼓の演奏でまつりを盛り上げた。



信州上田真田太鼓保存会による演奏

### 【照姫まつりとは】

主催：照姫まつり推進協議会(照姫まつり実行委員会、練馬区観光協会、練馬区)

照姫は、室町時代中期に石神井城を本拠地とし、栄華を極めていた豊島泰経公の娘として語り継がれている。戦乱の当時、泰経公は宿敵太田道灌(おた どうかん)に攻め滅ぼされると、愛馬にまたがり、現在の石神井公園にある三宝寺池に身を投じた。愛娘の照姫は、泰経公の最期をみると、悲しみのあまり自らも池に身を投げ、命を絶ったと言われている。

照姫まつりは、照姫の伝説にちなんだまつりで、命の大切さや郷土への愛着を深めるとともに、地域の賑わいの創出に寄与することを目的として、毎年春に開催されている。

### 【出陣式と照姫行列に、観衆から盛んな拍手と声援が】

正午ごろ、照姫、泰経公、奥方の三役をはじめ、姫や武者等が石神井公園内の野外ステージに登場。豊島氏の繁栄から滅亡の様子を描いた『出陣式』が披露されると会場は大きな拍手で包まれた。

そして、泰経公の「エイ、エイ」の掛け声が続いて、家臣たちの「オー！」という勇ましい闘(とき)の声で、総勢約100人の行列が野外ステージを出発。三役を輿(こし)に乗せ、名物の照姫行列がスタートした。

三宝寺池に眠るとされる龍神を先頭に、武者や姫など総勢約100人で構成される行列の長さは、およそ100メートル。沿道には大勢の観客が待ち構え、照姫たちが近づくと大きな歓声や拍手を送り、三役は手を振りながら、にこやかな笑顔で応えていた。また、途中、武者たちが威勢の良い掛け声をあげるなどの演出もあり、大いに盛り上がった。

### 【長野県上田市も参加】

今年区は友好都市で、来年の大河ドラマ「真田丸」の舞台である長野県上田市も参加。真田の甲冑隊が照姫行列に参加したり、信州上田真田陣太鼓保存会が石神井公園駅前会場で太鼓の演奏を披露したりと、友好を深めつつ照姫まつりを盛り上げた。また、特産品、名産品の販売も行われるなど上田市のPRが行われた。

【問合せ】照姫まつり事務局(練馬区 商工観光課 まつり係) 電話03-5984-2389